



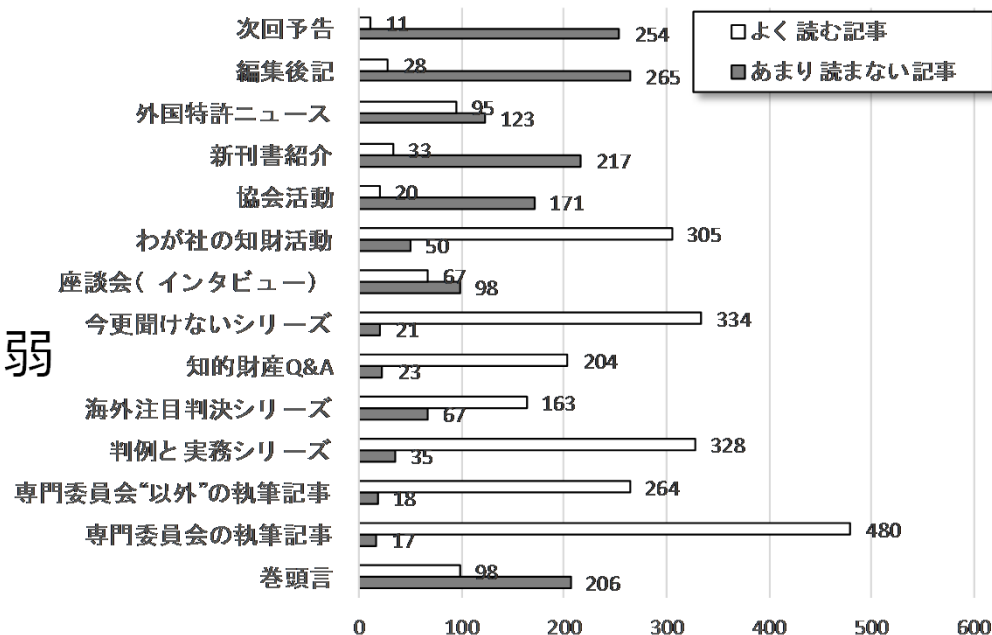
## ◆ FY2018 知財管理/季刊じぱ アンケート結果 (1/3)

### 【アンケート概要】

- 実施期間：2019年1月15日～2月8日
- 回答数：知財管理 635 (正会員 564、賛助会員 33、特許庁 38、知財高裁 1)  
季刊じぱ 491 (正会員 451、賛助会員 22、不明 4)

### 【結果：知財管理】

- 読む時間・分量・難易度
  - 1号30分。数稿のみ読むが7割
  - ページ数、記事数は半数が適切
  - 難易度は適切6割、難しい4割弱
  - 「今更」の難易度も妥当が8割
- よく読む記事
  - 委員会原稿が最も読まれている
  - 企画、わが社の知財活動も



Q2-4 よく読む記事・あまり読まない記事

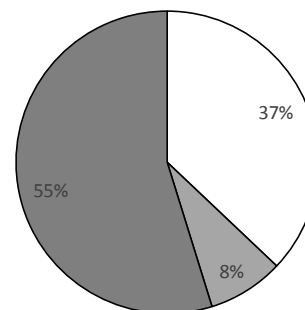




## ◆ FY2018 知財管理/季刊じば アンケート結果 (2/3)

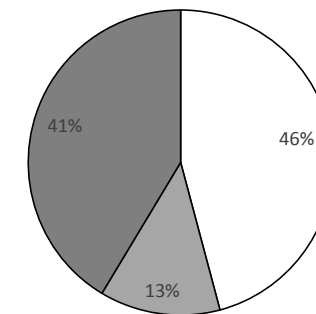
### 【結果：知財管理(続き)】

- 有用性：94%が有用と高い支持
- 特集号・ミニ特集
  - 特集号の認知度は半分以下。有用が8割
  - 第4次産業革命ミニ特集は、複数号掲載で半数強の認知度。有用が8割
- 要望：ウェブ掲載時期を早めて欲しい
  - 発行当月中掲載の準備中



□ 知っている・読んだ  
 ■ 知っている・読まなかった  
 ■ 知らなかった・気付かなかった

Q3-1 特集号の認知度

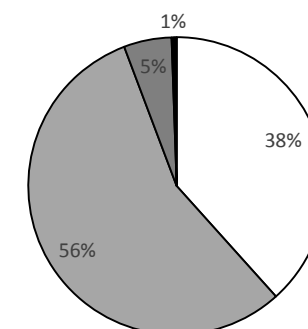


□ 知っている・読んだ  
 ■ 知っている・読まなかった  
 ■ 知らなかった・気付かなかった

Q3-2 ミニ特集の認知度

### ◆ 今後の進め方

- 今後とも質の維持、向上に努めます
- グローバル最先端の話題の掲載
  - データ利活用、独禁法、AI/ロボットと倫理、ベンチャー



□ 有用性が高い  
 ■ どちらかと言えば有用性が高い  
 ■ どちらかと言えば有用性が低い  
 ■ 有用性が低い

Q4-2 知財管理の有用性





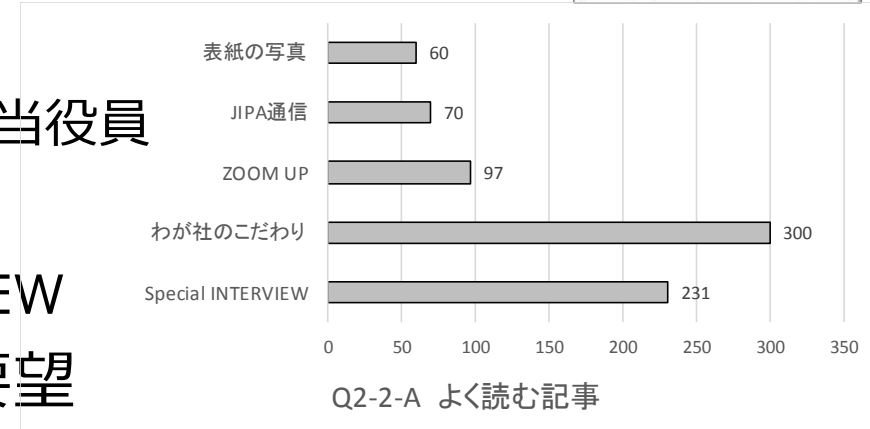
## 会誌広報委員会 (委員数 28名/担当：鹿嶋理事)

### ◆ FY2018 知財管理/季刊じぱ アンケート結果 (3/3)



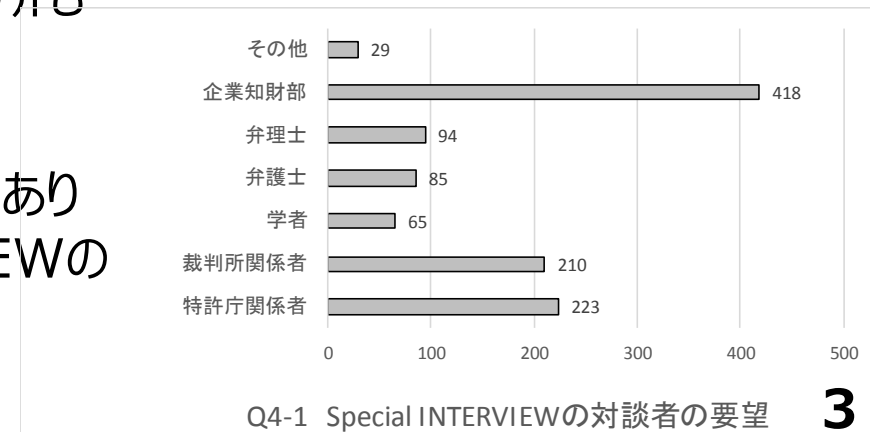
#### 【結果：季刊じぱ】

- JIPAの活動が感じられ、興味を持ってもらっている
  - 非会員からの回答は確認できず
- 配布部門：設計・技術、法務、知財担当役員
- よく読む記事
  - わが社のこだわり、Special INTERVIEW
- Special INTERVIEWの対談者要望
  - 企業知財部が最も多く、特許庁・裁判所も



#### ◆ 今後の進め方

- 他社知財部の動向に関心が高いようであり  
わが社のこだわり、Special INTERVIEWの  
企画に反映させる





◆2020年4月特集号：

● **メインテーマ：知財を超える**

- 多くの分野で産業構造の転換が起こっており、企業活動も大きく変貌を遂げようとしている中、それに貢献する知財活動が求められる
- 従来の特許・意匠・商標等の産業財産権中心の活動から、著作権・営業秘密、更にはデータ利活用、契約、オープンクローズ戦略の見直し、ベンチャー協業にまで広がっている

● **論説**

- 知財を取り巻く環境変化：理事長経験者、モビリティ、学者
- 外から見た日本：海外のベンチャー事情（米、中、イスラエル、インド）
- 日本の挑戦：ユニコーン、スタートアップ、エコシステムとルール形成